

角間里山ゾーンのクマ警戒サインの発出基準

201013

角間里山本部幹事長提案

金沢大学が位置する金沢市東部丘陵一帯では、ツキノワグマ（以下、クマと略す）の生息が確認されている。角間里山本部は、里山ゾーンにおける不慮の遭遇による事故を防止するため、「クマ警戒サイン」を発出する。発出に際しては、クマの生態とクマの目撃情報に基づいた発出基準を下記のとおり定める。また、警戒レベルに応じて入山を規制するとともに、入山に際して入山基準の遵守を求める。

○クマ警戒サイン

レベル	状況	発出基準	入山規制
禁止	危険性の高いクマが潜んでいる確率が高く、 絶対危険状態である	猟友会が要捕獲クマを里山ゾーン内で見張っている 捕獲後は翌日からレベルを「危険」に下げる	すべての利用者の入山を禁止する
危険	角間キャンパス内でクマの目撃情報があり、 里山ゾーン内にクマが潜む可能性がある	角間キャンパス**内でクマの目撃情報があった 石川県から「クマ出没警戒情報」が発出されている	特別許可者*に限定して、入山を認める

		目撃日から1か月継続し、その後は「警戒」とする	
警戒	角間周辺でクマの目撃情報があり、角間キャンパスでもクマに遭遇する可能性がある	金沢大学周辺の地域でクマの目撃情報があった 石川県から「クマ出没注意情報」が発出されている クマの活動月（4～11月）は原則として継続する	入山基準を遵守すれば、入山できる
注意	長くクマの目撃情報がなく、クマに遭遇する可能性は低いですが、注意してください	クマの冬眠月（12～3月）は「注意」を表示する	誰もが自由に入山できる

*：里山管理上あるいは研究上の理由により、里山本部は特別許可を与えることができる。

**：角間キャンパスの県道や角間川等の県有地を含む。

角間里山本部がクマ警戒サインのレベルを変更する場合は、里山登録利用者に情報発信するとともに、角間の里に通知する。

クマ警戒レベル「危険」は、総務部が発出するクマ目撃情報と連動する。

石川県が発出する「警戒情報」「注意情報」と連動させる。

クマ警戒レベルを「警戒」「注意」に下げの場合は、特に通知しない。